

プレスリリース

第 27 回

少年少女の詩「江間章子賞」授与式を行います

自然や日常生活で心に浮かんだ情景を詩で表現

【発表の要旨】

八幡平市では、市ゆかりの詩人で名誉市民「江間章子先生」の功績を顕彰するとともに、児童生徒が先生の詩の心を引き継ぎ、豊かな心を培うことを願い、平成 10 年度に少年少女の詩「江間章子賞」を創設し、優秀な作品を表彰しています。今年度も県内小中学校からの応募作品から入賞者を決定し、授与式を行います。

- 1 主催 八幡平市
- 2 主管 八幡平市教育委員会、八幡平市児童詩研究会
- 3 後援 IBC岩手放送、岩手日報社
- 4 入賞 部門 小学校(低学年・中学年・高学年)、中学生の計 4 部門
賞 江間章子賞(各部門 1 編)
八幡平市長賞(各部門 1 編)
八幡平市教育長賞(各部門 1 編)
入選(各部門 5 編)
- 5 授与式 日時 令和 6 年 11 月 3 日(日・祝) 午前 10 時 30 分～ 11 時
場所 西根地区市民センター
内容 江間章子賞、市長賞、教育長賞の受賞者(計 12 名)に賞状授与
選考委員長の審査評
江間章子賞受賞者(4 名)の詩の朗読
※ 八幡平市市民憲章推進大会内で実施します。
※ 受賞者には、安比塗の賞状を授与します。
- 6 選考委員
委員長 赤澤 義昭 氏(日本近代文学学会会員)
委員 小野寺久穂 氏(IBC岩手放送メディアセンター
テレビ制作部長)
委員 細田 清 氏(岩手日報社編集局報道センター長
兼論説委員)

【担当】

教育委員会事務局教育総務課

総務係長 橋場 忍

電話 0195-74-2111 (内線 1362)



市ゆかりの詩人 江間 章子先生
八幡平市名誉市民

詩人。大正 2 年 3 月 13 日、新潟県高田市(現上越市)生まれ。

大正 4 年に父が急逝し、少女時代を母の郷里、平館村(現八幡平市平館)で過ごした(平館小学校に 6 年生まで在籍)。

「夏が来れば 思い出す はるかな尾瀬・・・」で有名な『夏の思い出』の作詞などで知られ、現代詩人协会会员、日本文芸家協会、日本音楽著作権協会評議員としても活躍した。

平成 17 年 3 月 12 日、東京都内の病院で逝去(享年 91 歳)。

西根第一中学校校歌や、平館小学校創立 100 周年記念讃歌を作詞したほか、平成 10 年に創設した少年少女の詩「江間章子賞」の初代選考委員長も務めた。

西根町名誉町民
(平成 7 年 11 月 2 日)
八幡平市名誉市民
(平成 17 年 9 月 1 日)
東京都世田谷区名誉区民
(平成 4 年)
群馬県片品村名誉村民(平成 10 年)

